

令和5年度 放送大学山形学習センター公開講演会

# 世界遺産ナスカの地上絵研究

人工衛星画像・ドローン・人工知能

世界遺産ナスカの地上絵は、あまりにも広大な範囲に分布しているため、20世紀初頭の発見以来、十分に調査されてきませんでした。そこで、地上絵がいつ、誰によって、どのような方法で、何のために作られたのかについて、根拠のない仮説が唱えられ、それが広く流布してきました。しかし、21世紀に入り、日本調査団が人工衛星、ドローン、人工知能（AI）といった新技術を駆使した現地調査を実施した結果、地上絵に関する理解は格段に進みました。

この講演では、まず、日本調査団が過去20年間にわたって実施してきた研究の歩みをふりかえるとともに、地上絵の謎がどこまで解明されたのかについて説明します。

そして、最後に今後の課題についてお話しします。

日時:令和6年1月28日(日) 14:00~15:30

定員:60名(無料) 会場:新庄市民プラザ

【新庄市大手町1番60号 ☎0233-22-4200】

講師: 山形大学  
学術研究院教授

坂井 正人氏

「ナスカの地上絵」研究の世界的権威。現地政府の許可のもと、世界でただ一つの現地調査を行っている研究グループの統括者です。



□主催 放送大学山形学習センター

□共催 新庄市教育委員会・放送大学最上学習室支援推進委員会

<お申込み> 令和6年1月19日(金)まで

<申込先> 放送大学山形学習センター (霞城セントラルビル10階)

TEL:023-646-8836 / E-mail:ymsg-sc@ouj.ac.jp

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学べる — 放送大学は通信制の大学です —  
**放送大学** 2024年 1学期4月 **入学生募集**

出願期間(2023年11月26日~2024年3月12日)